

○事業所名	だんだん			
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日		～	令和7年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日		～	令和7年3月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	概ね児童1名に対しスタッフ1名が対応するマンツーマン方式を採用し、安全面も含め環境を整えている	・各児童の発達具合や状況に合わせて、きめの細かい支援が実施できる ・ローテーションで児童とスタッフの組み合わせを変えることで、多面的な療育を行うことができる ・児童複数名を1台の車で送迎する際は、必ず複数のスタッフが乗車し、安全確保に努めている	スタッフの人数に余裕を持たせ、プログラム進行を行うスタッフは担当を持たずに進行に専念したり、全体の流れを監督したり出来るようにする
2	療育計画を具体的にスモールステップで立案している	児童に何度でも達成感を味わってもらうことができ、児童の自尊心向上にも繋げられる	全児童と面談を行い、児童の意向や希望も計画書に取り入れ、より充実した支援プログラムを作成する
3	専任の相談支援員を配置している	別棟に相談室を設置し、保護者に対して、どの時間帯でもタイミング良く対応することができる	来所面談以外にもメールや電話での相談が可能であることを改めて保護者に周知する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催が少ない	・就労されている保護者がいるなど、集まる機会を作ることが困難である ・個別の相談が多く、広く意見交換をすることが難しい	・外部講師を招いての研修会を開催するなどの工夫が必要 ・他の保護者やその家族との交流の希望が寄せられた時は検討したい
2	地域で他の子どもたちと交流・活動する機会が無い	・他の子どもたちとの交流を希望する保護者がいない ・一部の児童は児童会館を利用している	・今後、希望が出された場合には検討したい
3	事業所の行事に地域住民を招待する等の地域交流を行っていない	・建物の構造上（フロアが狭いなど）、地域住民を招待しての行事開催は現実的ではない ・環境の変化や刺激に敏感な児童が多く在籍しているため、不特定多数の来客招待は難しい	・住民を招待すること以外での地域交流を検討したい